

《略年譜》

- 昭和 15 年 (1940 年) 5 月 29 日、旧樺太 (現・ロシア領サハリン) で生まれる。
本名 納谷幸喜 (なや・こうき)
- 昭和 31 年 (1956 年) 北海道・弟子屈 (てしかが) 高校を中退、二所ノ関部屋に入門。9 月場所、16 歳で初土俵
- 昭和 34 年 (1959 年) 5 月場所、十両入り。「大鵬」と改名
- 昭和 35 年 (1960 年) 1 月場所、新入幕。11 月、九州場所にて初優勝。場所後、20 歳で大関に昇進
- 昭和 36 年 (1961 年) 7 月場所、9 月場所と 2 場所連続優勝し、柏戸と共に 21 歳 3 ヶ月、当時史上最年少で第 48 代横綱になる。以後 10 年間にわたり横綱を務める
- 昭和 42 年 (1967 年) 小国芳子と結婚。江東区清澄に住む
- 昭和 44 年 (1969 年) 30 回優勝を記念し相撲協会より一代年寄り“大鵬”の名跡を贈られる
- 昭和 46 年 (1971 年) 1 月場所、32 度目の優勝。5 月、引退発表。10 月、国技館で引退相撲を行なう。
清澄の自宅を改装して「大鵬部屋」(現在の大鵬部屋)を設立し、後進の指導にあたる
- 昭和 51 年 (1976 年) 日本相撲協会役員待遇、審判部副部長となる
- 昭和 53 年 (1977 年) 脳梗塞で倒れたが、闘病の末に回復
- 昭和 54 年 (1978 年) 日本相撲協会の理事就任、地方場所担当部長となる
- 平成 17 年 (2005 年) 空席だった相撲博物館館長に就任
- 平成 20 年 (2008 年) 日本相撲協会を退職
- 平成 21 年 (2009 年) 江東区名誉区民第一号になる
- 平成 25 年 (2013 年) 1 月 19 日、慶応病院にて逝去。享年 72 歳。同月、国民栄誉賞が授与される。墓所は江東区北砂の妙久寺

《主な記録》

- 優勝：32 回 (史上 2 番目)
全勝優勝：8 回 (史上 2 番目)
連続優勝：6 連覇 2 度達成
通算成績：872 勝 / 182 敗 / 136 休
幕内通算：746 勝 / 144 敗 / 136 休
幕内勝率：83.8%
年少初優勝：20 歳 5 ヶ月 (関脇・史上 2 番目)
毎年優勝：新入幕から引退まで毎年優勝 (大鵬のみ)
年少新大関：20 歳 6 ヶ月 (史上 2 番目)
横綱昇進年齢：21 歳 3 ヶ月 (史上 2 番目)

●開館時間

午前 9:00 - 午後 5:00

●入場無料

(資料館展示室は別途有料)

●休館日

第 2・4 月曜日 (祝日の場合は開館)
年末年始 (12/29~1/1)

●交通機関

- 〈都営地下鉄〉 大江戸線 「清澄白河駅」下車 徒歩 3 分
〈東京メトロ〉 半蔵門線 「清澄白河駅」下車 徒歩 3 分
〈都営バス〉 門 33 系統 「清澄庭園前」下車 徒歩 3 分
秋 26 系統 「清澄白河駅」下車 徒歩 4 分

(公財)江東区文化コミュニティ財団

江東区深川江戸資料館・1階ロビー

〒135-0021 東京都江東区白河 1-3-28

TEL 03-3630-8625 / FAX 03-3820-4379

HP <http://www.kcf.or.jp/fukagawa/>



写真提供:ベースボールマガジン社

名誉区民 第48代横綱

横綱大鵬頭彰コーナー

江東区深川江戸資料館

昭和の大横綱「大鵬」

「巨人、大鵬、玉子焼き」が流行語にもなり、昭和を代表する大横綱「大鵬」。優勝は32回。2度の6連覇をはたすなど、前人未踏の記録を残しました。

大鵬こと納谷幸喜氏は永年江東区に住み、名誉区民第一号となっています。また、没年の平成25年には、その功績により国民栄誉賞を受賞しました。

江戸勸進相撲再興の地、富岡八幡宮があり、相撲部屋も多い江東区に、平成26年7月、ご遺族のご協力により「横綱大鵬顕彰コーナー」がオープンしました。

このコーナーでは、化粧まわし、優勝賜杯レプリカ、手形・サイン、写真、髷などのゆかりの品々を展示し横綱大鵬の足跡をたどります。



優勝賜杯レプリカ

The grand champion trophy given by the Emperor (replica)



髷

Topknot



横綱推挙状

The letter of recommendation for promotion to grand champion



夢の額

Endurance and dream

昭和46年5月(引退時)

身長 187cm

体重 153kg



太刀

Sword & mounting



化粧まわし

Ceremonial apron